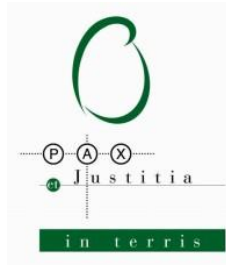


CATHOLIC DIOCESE OF NAGOYA  
2-6-35 AOI HIGASHI-KU  
NAGOYA, 461-0004 JAPAN  
TEL :81-52-935-2223  
FAX :81-52-935-2254  
EMAIL:curia@nagoya.catholic.jp



カトリック名古屋教区  
461-0004 名古屋市東区葵 2-6-35  
電話 : 052-935-2223  
ファックス : 052-935-2254  
Eメール: curia@nagoya.catholic.jp

2020年3月21日

教区の皆さま

## 新型コロナウイルス対策（5）

教区司教 松浦悟郎

＋主の平和

新型コロナウイルスに関する第5次のお知らせをします。先日のお知らせでは、教区として4月からは、主日のミサを細心の注意を払いながら徐々に通常に戻していくということでした。

教区としての方針は変わりませんが、感染リスクとしては愛知県が高く、また愛知県の中でも人数が多く、また人の密集度が高い小教区では通常の対策だけでは心配なところもあると思います。そこで、愛知県の小教区には以下のような可能性も許可することにしました。もちろん、主日のミサを増やすことや、聖堂での座り方、歌わずオルガン中心にする典礼など工夫しても限界があると判断した場合です。

### 個人的に行う「主日のみ言葉の黙想と聖体拝領」

#### A. 主日ミサをしない場合

- \* 司祭は、事前に主日のミサを行い、その聖体をもってある一定時間（通常のミサの時間）聖堂に待機する。その時間内に信徒が来た場合、聖体を授ける。
- \* 信徒は、日曜日のミサの時間内（小教区で決めた時間）ならいつでもいいので、教会に来て、その日の「聖書と典礼」を使って沈黙のうちに一人で祈る。やり方としては、集会祈願を唱えた後、3つの聖書朗読（答唱詩編を含む）をゆっくり味わい、少し黙想した後共同祈願、主の祈りまで行う。その後、聖堂にいる司祭から聖体を受け、最後に拝領祈願を心の中で唱え終わる。
- \* 献金は、入口に箱を置く。

#### B. 通常の主日のミサをする場合

- \* 小教区として主日のミサをするが、高齢者や付き添い、さまざまな理由で心配な人たちは、ミサ後に教会に来て聖体を受けることができる。そのために、司祭は主日のミサが終わってから一定時間の間（例えば、約1時間）聖堂に留まり、ミサ後に来る信徒たちが上記方法で祈りをした後に聖体を授ける。

上記の方法は、基本的には愛知県内の小教区を対象にします。他県の小教区でも、人数が多く懸念があるなら、Bの方法を取ることもできます。

期間は4月末までで、小教区評議会判断し司教に報告（教区事務局へファックスかメール）して下さい。今回、通常に向けて一步を進める具体策ですが、時間差でも、できるだけ主日に教会に集い、秘跡を受けることを主眼にしています。

祈りのうちに